

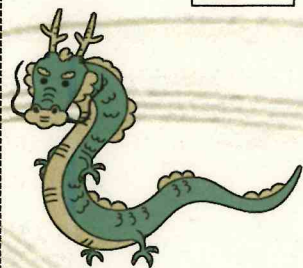
# 図書だより

No.9

## 今年もよろしくお願ひします。

新しい年がはじまりました。  
みなさんは、どんな冬休みを過ごしましたか？特別な1冊に出会えたでしょうか？  
ぜひ、読んだ本を教えてください。図書室で待っていますよ！

多摩市立和田中学校  
2024年1月29日  
学校図書館司書 福地梢



大河ドラマ『光る君へ』がはじまりました！

# 源氏物語を読んでみよう。

大河ドラマ「光る君へ」って、どんな話？

紫式部って、どんな人？

平安時代に、千年の時を超えるバストセラ「源氏物語」を書き上げた女性、**紫式部**の生涯を描いたドラマ作品。どんな作品となっていくのでしょうか？

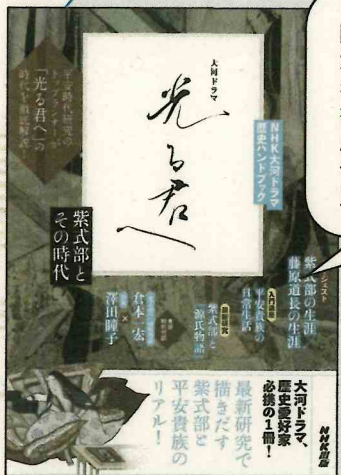
紫式部は、小さい頃からよく本を読み、学問が好きだったそうです。

小さい時に母と死にわかれ、表向きはおとなしく、ひかえめでしたが、心の中には強いものをもっていたようです。

22歳で結婚をし、2人の子供にも恵まれたけれど、2年後に夫を亡くしてしまいます。その頃から、『源氏物語』を書き始めたそうです。

のちに、一条天皇の后である彰子に仕えることとなります。ドラマでは、ソウルメイト(前世から深い縁があるのではないかと)と思うほどに、気の合う友人と言われる藤原道長との関係も注目です。

『源氏物語』についての本はたくさんありますが、その作者である紫式部についての本を手にするのはあまりないと思います。ぜひ、紫式部という人物を知る良い機会としてください！



『大河ドラマ 光る君へ』  
～紫式部とその時代～  
NHK出版

おすすめ



『知識ゼロでも楽しく読める！源氏物語』

人物相関図、名シーンのイラスト化、1話ごとのあらすじなどが充実しているので、理解しやすいです。



『源氏物語入門』

物語の展開をたどり原文の言葉にも触れながらその秘密を探ります。



『千年の百冊』  
あらすじと現代語訳でよむ日本の古典100冊スーパーガイド！

有名な古典文学が100冊！あらすじと有名場面の現代語訳と原文で構成されています。



『源氏物語 紫の結び(1)～(3)』  
荻原規子(翻訳)

光源氏の一生を、藤壺の宮、紫の上との関係性を軸に描いています。『源氏物語』を始めて読む人におすすめです！

## 高瀬舟

### 『高瀬舟』 森鷗外

高瀬舟は、島送りにする際に、罪人を運ぶための舟である。

弟殺しの罪人となった喜助が、その護送にあたった羽田庄兵衛に語った罪の真相。

なぜ、弟を殺さねばならなかったのか？  
喜助は、罪人と呼べるのだろうか？

### 『檸檬』 梶井基次郎

肺を患い重苦しい精神状態の主人公の目の前に突如現れた檸檬。「一体、私はあの檸檬が好きだ。」と、檸檬の色彩と感触に今までの憂鬱な気持ちが消え去った。

この主人公の憂鬱な感情と檸檬とが対照的に描かれている。

## 檸檬



### 『葉桜と魔笛』 太宰治

病気で余命わずかの妹と、そばで見守る姉の物語。若くして病気となり、一つの恋もできなかった妹。妹は、架空の恋人を演じ、自分にあてて手紙を書き続けた。その手紙を読んでしまった姉は……。

『人間失格』太宰治の別の一面を知ることのできる作品！



## 近代文学作品×『乙女の本棚』

『乙女の本棚』シリーズは、名作文学と現代の魅力的なイラストが融合した、コラボレーション・シリーズです。

少し敷居の高い文豪たちによる近代文学作品。これらを、素晴らしいイラストを通じて、「読んでみたい！」と思わせてくれるシリーズです。

図書室展示中！

ここに載せた作品の原文や、その他近代文学も展示しますので、ぜひ、この機会に名著と呼ばれる作品を読んでみてください！

### 『山月記』 中島敦

「その声は、我が友、李徴子ではないか？」と、草むらに隠れる虎に向かって袁修（えんさん）は呼びかけた。

虎に姿を変えた李徴と袁修は旧友であった。

李徴が自らの生き様を振り返り、虎になった訳を語りだした……。

## 山月記



### 『月夜とめがね』 小川未明

月のきれいな夜。おばあさんの家にやってきた、不思議な2人の訪問者。

ひとりには、メガネ売りの男性。そして、もう1人は、ケガをした美しい少女だった。

月の美しい夜は、夢のような不思議なことが起こるものです……。

## 月夜とめがね



### 『木精』 森鷗外 こだま

フランツという少年は、屏風のように立つ巖（いわ）の前に立ち、大きな声で叫ぶ。すると、その声にかたえて、声に戻ってくる。『こだま』である。

しかし、フランツが大人になって、同じように叫んでも、こだまは返ってこない。一体、どうして？

## 木精



### 『蜜柑』 芥川龍之介

身なりの良い男は汽車の中で発車するのを待っていた。そこへ、頬を赤らめ、霜焼けの手をした田舎娘の姿の少女が入ってきた。

その少女は、しきりに汽車の窓を開けようとしている。

少女はいったい、何をしようとしているのか……。

## 蜜柑

